

3 公共施設等の遊休資産の有効活用を推進

国土交通省スモールコンセッション形成推進事業に2件が選定

磐田市は、地域住民の満足度の向上、災害時の安心安全の確保などを図るため、遊休資産を公共的サービスの提供をはじめとする形で活用していきます。

推進にあたり、専門家からの支援を受けるため、国土交通省が実施するスモールコンセッション形成推進事業として、磐田市の2件について専門家の派遣が決定されました。(全国では磐田市を含み9件が決定)

この派遣を通じて、対象事業の活用方法等を検討するほか、市として官民連携の経験を積むことにより職員の知識向上に繋げ、今後のモデルケースの一つとしていきたいと考えています。

1 スモールコンセッションとは

廃校等の空き施設や地方公共団体が所有する空き家等の活用について、民間事業者の創意工夫を最大限に生かした小規模な官民連携事業により、地域課題の解決やエリア価値の向上につなげる取り組みです。

2 対象事業

① 地域コミュニティ拠点機能を有する旧岩田小学校利活用検討調査

令和8年3月末に閉校した旧岩田小学校において、(仮称)地域のまちづくり拠点と民間機能を組み合わせて施設を整備し、地域住民の満足度向上を目指す

② 遠州の小江戸「みんなが主役のまちづくり」実現に向けた旧津倉家利活用検討調査

国の登録有形文化財(建造物)である旧津倉家住宅において、具体的な取り組みを検討し、地域資源を活用したまちづくりを推進する

3 今後のスケジュール

令和8年5月27日：国土交通省による調査委託先の募集締め切り

令和8年6月下旬：派遣専門家の決定

令和8年7月～1月：地域対話、IRIビジョン検討、市場調査、事業手法検討

令和9年2月頃：成果発表